

高知市立学校(特別教室・給食調理室)空調設備整備
に関するサウンディング型市場調査

結果概要

令和7年9月

1 サウンディング型市場調査の開催概要

(1) 調査の実施経過

日付	内容
令和7年6月2日(月)	実施要領の公表
令和7年6月27日(金)	参加申込期限
令和7年7月7日(月)	提案書の提出期限
令和7年7月15日(火)	サウンディング型市場調査の実施

(2) 参加事業者数

本調査には、2事業者の参加がありました。

2 サウンディング型市場調査の対話内容

各項目の主な意見・提案は次のとおりでした。

今後、これらの提案等を参考に検討を進める予定です。

項目	主な意見・提案等
①空調設備の内容	<p>【熱源について】</p> <ul style="list-style-type: none">・都市ガスエリアでは都市ガスを熱源とし、それ以外のエリアでは電気を熱源とする方針を推奨。普通教室に空調設備を導入する際に整備した既存設備を有効に活用することで、導入コストの低減、統一した維持管理の構築が図れる。 <p>【空調機器について】</p> <ul style="list-style-type: none">・空調機器については、天吊タイプを推奨。室外機の配置場所は個別に検討を要する。・給食調理室の空調機器については、ステンレス製を推奨。他市ではジャバラダクトを利用し、ピンポイントで風を送るタイプのものの採用事例あり。 <p>【空調負荷について】</p> <ul style="list-style-type: none">・空調負荷については、普通教室は200W/m²を推奨。給食調理室については、室内全体を冷やすのであれば600～800W/m²必要であるが、あくまでも熱中症対策として必要最低限の能力とする形が現実的であるとする。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・空調方式、熱源ともにプロポーザル方式で提案する形が一般的
②事業手法	<p>【最適と考える事業手法】</p> <ul style="list-style-type: none">I BOTもしくはBTO/DBO方式（プロポーザル型）…1社II DBO方式…1社

	<p>【理由】</p> <p>I BOTもしくはBTO/DBO方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計・施工・維持管理を一括しての事業契約とすることで、事業者側の維持管理のノウハウが活かしやすく事業者の強みが発揮できる。事業費についても、提案時の段階で維持管理コストを抑えた提案が可能。行政側としても、入札の回数が減り、業務負担の軽減が見込める。 ・BTO/DBO方式であれば、交付金・地方債を活用しながら、自主財源分の割賦支払いが可能 ・PFI法に則って、実施する場合、SPC創設やコンサル契約等に手間と費用がかかる。空調整備事業に対して、PFIの必要性は感じない。 <p>II DBO方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備LCCと運営コストの削減のため、DBO方式（プロポーザル）が最適な事業手法と考える。 ・ただし、オペレーションを取り入れるかについては検討が必要。（オペレーションとして想定されるものは、フィルター清掃や簡易点検、エネルギーのモニタリング等でその必要性について検討が必要。） ・PFI法に則って、SPCを創設する場合、出資側のリスクアセスメントに時間を要する等、迅速な導入は困難となることが想定される。 <p>【既設の空調機器も含めて一括維持管理することについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとの空調機器台帳を作成し、リスク分担を明確化できれば可能と考える。 ・令和元年度整備の普通教室整備機器であれば一括維持管理可能。それ以前に整備している機器については、数量が多く、整備年度や方式等にばらつきがあることから、難しいと考える。
<p>③想定される工期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備スケジュール ・概算事業費 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社実績を参考とし、工期は4か月程度を想定 ・設計期間3ヶ月、施工期間は12ヶ月が妥当と考える。設計施工で12ヶ月工期として履行することも不可能ではないが、昨今の働き方改革について「週休2日」を取得することが望ましいと考える。
<p>④維持管理期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手法 	<ul style="list-style-type: none"> ・コールセンターの活用を提案 ・リース期間としては、法定耐用年数の13年以内が多い。希望としては、メーカーの保険対応があること多い10年 ・維持管理手法については現在の普通教室整備後の状況を勘案し検討する必要あり。 ・期間については冷凍機の耐用年数13年が妥当

⑤市内事業者の参画・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・施工・維持管理について市内業者の積極的な活用を想定。市内経済への貢献とともに、不具合時のスピーディーな対応が可能。機器の調達も市内業者で行うことを想定
⑥留意すべき事項・リスク等	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク分担，特に，維持管理期間中の不具合に対してのリスクを発注者・受注者どちらが負担するかを公募仕様書の段階で明文化する必要がある。 ・施工時のリスクを避けるべく可能な限り長期休暇中での施工が必要 ・現在，高知市内では，民間企業の建物投資が進んでおり，一番の懸念事項は人材確保。その稼働のピークは来年から再来年で，週休二日が通常となっている今の時世で，学校の空調整備に十分な人材を確保するためには事前準備が必須 ・提案書やプレゼン資料の作成期間は 3.5 ヶ月～4 ヶ月が妥当であると考え ・来年度の事業案件とするならば早急に事業者選定に向けた検討が必要
⑦その他	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者選定を公募型プロポーザルとした場合，価格点の配点割合が多すぎると事業者独自のノウハウが活かしづらく，単純な入札形式と変わらないので価格点についての配慮が必要 ・高知市に指名願いが出ているものであれば単独又は共同企業体により参加が可能な事業として要望する。ただし，管工事及び電気工事の総合評定値が一定の点数以上を条件とすることを推奨

3 連絡先

高知市教育委員会学校環境整備課

担当者 木下

電話番号 088-823-9480

FAX 番号 088-823-9365

メールアドレス kc-200500@city.kochi.lg.jp